

楽しく知った トンガの日常



子どもたちと交流する稲垣大使を＝尾張旭市渋川小で

尾張旭・渋川小で日本国大使が紹介

駐トンガ日本国大使の稲垣久生大使が外務省の地方連携業務の一環として17日、尾張旭市渋川小を訪れた。2年生たちにトンガを紹介したり、質問に答えた

りして交流を深めた。

同市は2005年の愛・地球博（愛知万博）の一市町村一國フレンドシップ事業をきっかけにトンガと交流が続いている。2月にも

日本トンガ友好協会代表で、元ラグビー日本代表のラトゥ・ウィリアム・志南利さんが同校を訪れ、2年生たちが同国の文化を学ぶ「学習プログラム」が行われた。

この日は大使がトンガについて説明。ラグビーが盛んで、ラグビー日本代表にはトンガ出身の選手が多くいることなどを紹介した。その後は児童たちから多くの質問が飛び交った。「トンガではどんな動物が見られるか」という問いに「犬が放し飼いされていて、町中で見かける」と答えるなど、児童たちは驚いた様子を見せていた。

参加した高原淳之介さん（8）は「知らなかったことがたくさん知れて楽しかった。トンガに行ったらクジラと一緒に泳いでみたい」と笑顔を浮かべた。

（宮下爽）